

「ぴっかぴか」

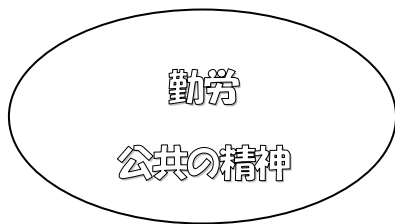
(参観のキーワード：学習プリントの活用 心メーターの活用)

—学習すること（ねらい）—

◎「わたし」の気持ちの変化を通して、自分からすすんでみんなのために働くことの大切さについて考えを深めます。



—ねらいとする道徳的価値は—



この時期の子供たちは、自分でできることが増え、係活動や当番活動などに積極的に取り組みます。その一方で、みんなのために働くことを負担に感じたり、面倒に思ったりする様子も見られるようになります。

勤労・公共の精神は「働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと」でもあります。仕事に対して誇りと喜びをもち、働くことの意義を自覚して生きがいをもって取り組めるようにしたいです。

—この授業で使う資料について— (出典：「小学 どうとく はばたこう明日へ」 3年 教育出版)

「わたし」は学校の外掃除を担当しています。はじめはみんなと一生懸命に取り組んできましたが、すぐに汚れてしまうという大変さもあり、周りの子供たちと一緒にさぼるようになり、5年生に注意されてしまいます。「わたし」はそのことを不満に思いますが、5年生の清掃活動をほめる校長先生の言葉や、5年生が掃除したあとの昇降口がぴっかぴかな様子を見てやる気を出すという内容です。子供たちにとって身近でイメージしやすい状況の中で、3年生、5年生の姿からみんなのために積極的に清掃に取り組む大切さについて考えさせたいです。

—学習活動と主な発問—

1 当番活動について話し合う。

○学校でみんなのためにどんな仕事をしていますか。

2 資料「ぴっかぴか」を読んで話し合う。

○ダンゴムシをみつけたとき、わたしたちはどんな気持ちだったでしょう。

○5年生に注意された時わたしはどんな気持ちだったでしょう。

◎わたしはどうしてはずかしくなったのでしょうか。

3 すすんでみんなのために働くことについてふりかえる。

○これまでにあなた自身めんどろに思って、すすんで仕事ができなかったことがありますか。(これからどうしていきたいですか)

4 教師の話をお聴く。

—子供たちのこんな姿を期待します—

みんなのために働くことは楽なことではありません。苦労をせず、楽なものに逃げてしまいそうになる気持ちを、「みんなのため」と思い、一踏ん張りする気持ちを深めることを期待します。

